

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年3月25日  
学) 東村山町田学園 久米川幼稚園

## 1 本園の教育目標

- ・明るく元気なこども
- ・考えて行動するこども
- ・思いやりのあるこども

## 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・幼児教育の内容を吟味し、より質の高い教育の実践を目指す。
- ・教職員の資質向上を図る。
- ・コロナ禍における園生活・行事等の見直しを行い、最善の保育を考え取り組んでいく。

## 3 評価項目の達成及び取り組みの状況

	評価目標	評価	取り組み状況
1	自然環境の視点から幼児教育の内容・方法の充実を図る。	A	・野菜や麦を育て成長の様子を観察したり、収穫の喜びを感じたりすると共に食育へと繋げていった。
2	教育の質向上の為に、園内の研修を充実させる。	B	・全職員でDVDによる研修を行い、幼児教育の重要性を再確認した。 ・音楽指導講師による園児への指導を通し、職員の専門性の向上を図った。
3	コロナ禍における園生活の見直し及び、環境を整える。	A	・各行事の見直しを行い、今年度実行できる最善の保育内容を考え、幼児にとって豊かな経験となるよう、職員全員で計画し取り組んだ。

○評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少しは成果があった D・・・成果がなかった)

## 4 総合的な評価結果

評価	理由
A	幼児の実態や自然環境を生かした取り組みはできたが、コロナ禍ということもあり規制せざるを得ない活動もあった。その都度、職員間で問題を前向きに受け止め、新たな展開を見出し実践に移すことができた。

○評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少しは成果があった D・・・成果がなかった)

## 5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	人工芝生園庭における活動	令和3年度、全面人工芝生化された園庭を有効的に活用できるように職員で考えを出し合いながら幼児の発達に沿った活動のあり方を考え実践していく。
2	地域との関わり	コロナ禍で希薄となっている地域との関わりについてその重要性を意識し、地域の方との交流や行事等、可能な範囲で積極的に関わっていく。
3	園内研修	外部講師を招いたり、オンライン研修を取り入れたり等、教職員が共通の学びとなるよう園内研修を充実させ、幼児理解、保育内容等の知識・技能を高めていく。

## 6 学校関係者評価委員会の評価

- ・幼児にとってたくさんの自然的学びが得られ、環境整備に力を注いでいるのがよく分かる。
- ・研修を通し教職員の資質向上に励んでいる様子が子ども達の生き生きとした表情から伝わり、一人一人を大切にされた保育を実践されていることが分かる。
- ・今後も地域の子育ての中心的な立場としての尽力を期待する。